

1年数学前期中間テスト

《数量・図形についての知識・理解》

1. に適当なことばや数を入れなさい。

◆ 0より大きい数を正の数といい、+を使って表す。

また、0より小さい数を「」といい、-を使って表す。

「」は正の数でも「」でもない数である。

◆ 数直線上で、原点から、ある数を表す点までの距離を、その数の「」という。

◆ 数の大小について、負の数は、その数の「」が大きいほど「」。

◆ $(+2)+(-5)+(+1)+(-8)$ という加法だけの式で、
+2, -5, +1, -8 のそれぞれを、この式の「」という。

2. 次の数量を、正の符号、負の符号を使って表しなさい。

(1) 「1時間前」を-1時間と表すとき「3時間後」

(2) 「北へ4km移動する」を+4kmと表すとき「南へ6km移動する」

3. 次の問いに答えなさい。

+0.5, -4, -7, +2, $+\frac{1}{3}$, 0, $-\frac{1}{4}$, +10

(1) 上の数の中から、負の数をすべて選びなさい。

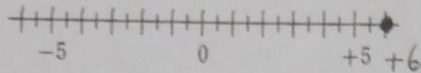
(2) 上の数の中から、整数をすべて選びなさい。

4. 解答用紙の数直線上に、次の数を表す点をかき入れなさい。点の下に数も記入しなさい。

(1) -3

(2) $+\frac{7}{2}$

(記入例 $+6$)



5. 次の数の絶対値を答えなさい。

(1) $+5$

(2) -0.8

6. 次の に適当なことばを入れなさい。

(1) 加法では、 $a+b=b+a$ のように、

計算の順序を入れかえることができる。これを加法の 法則という。

(2) 加法では、 $(a+b)+c=a+(b+c)$ のように、

計算の組み合わせをかえることができる。これを加法の 法則という。

《数学的な技能》

7. 次の各組の数の大小を、不等号を使って表しなさい。

(1) $-3, +0.7$

(2) $-6, +4, -2$

8. 次の問いに答えなさい。

(1) 絶対値が7である数をすべて答えなさい。

(2) 数直線上で、 $+5$ と -14 から等しい距離にある数を答えなさい。

9. 次の計算をしなさい。

(1) $(-6)+(-2)$

(2) $(-10)+(+6)$

$(3) (-14) + (+25)$

$(4) (-4) - (-6)$

$(5) (+13) - (+22)$

$(6) (-23) - (-23)$

$(7) (-5) + (+7) + (-12)$

$(8) (-7) + (+13) - (-2) - (+14)$

$(9) 14 - 13 + 22 - 10$

$(10) -5 - (-2) + 4 - (+7)$

$(11) -17 - (-24) + (-13) + 16$

10. 次の計算をなさい。

$(1) (+4.3) + (-9.2) + (-1.8) + (+4.7)$

$(2) \frac{2}{3} - \left(-\frac{1}{4}\right) - \frac{5}{6}$

$(3) 10.8 - 31.2 - (-5.59) + (-2.7) + 0.49$

$(4) -\frac{5}{3} + (-0.8) - \frac{4}{15} + \frac{3}{5} - (-1)$

11. 次の表は、3つの都市の気温が、東京と比べて何℃高いかを表したものです。

都市	札幌	京都	那覇
気温(℃)	17	25	28
東京との差(℃)	+10	+2	-1

表を完成させなさい。

《数学的な見方や考え方》

12. 加法の交換法則と結合法則を利用して、次のように計算をしました。□にあてはまる数を入れなさい。

$$\begin{aligned} & (-14) + (+5) + (+14) \\ & = (+5) + \boxed{\text{ア}} + (+14) \\ & = (+5) + \{ \boxed{\text{ア}} + (+14) \} \\ & = (+5) + \boxed{\text{イ}} \\ & = \boxed{\text{ウ}} \end{aligned}$$

13. 次の各問いに答えなさい。

(1) 2つの整数の和が-4になる加法の式を1つ答えなさい。(0は除きます)

(2) 2つの整数の差が-6になる減法の式を1つ答えなさい。(0は除きます)

14. 次の各問いに答えなさい。

(1) 絶対値が2.7より小さい整数をすべて書きなさい。

(2) 次の式は、いつでも正しいといえますか。

いつでも正しいとはいえない場合は、正しくない例を1つあげなさい。

$$(\text{負の数}) - (\text{負の数}) = (\text{正の数})$$

$$-8 - +7 = -1$$

- (3) 下の表はBさんの点数を基準にして、A,B,C,Dの4人の身長を表したものである。Cさんの身長を基準にして、Aさんの身長を表すとどうなるか。正、負の数を使って表しなさい。

Aさん	Bさん	Cさん	Dさん
-2.5cm	0cm	+1.5cm	+4cm

(4) 次の表は、2016年2月の藤沢市の最高気温と最低気温を日ごとに表したものです。

表の中で、一日の気温差がもっともあった日とその気温差を答えなさい。

日付	1日	2日	3日
最高気温(℃)	+8	+6	+9
最低気温(℃)	+3	-4	-2

15. -4 , $+5$, -1 の大小を不等号を使って表すとき、 $-4 < +5 > -1$ とは書かない。

その理由を書き、正しい書き方に直しなさい。

16. ゆかりさんは、ある数にどんな数を加えても、和はもとの数より大きくなると言っています。

ゆかりさんの考えは正しいですか。その理由も答えなさい。

17. 次の計算には間違いがあります。どこが間違っているか説明し、交換法則や結合法則を使って正しく計算しなさい。また、それがわかるように途中の式をしっかりと書きなさい。

$$\begin{aligned} & (-7) - (-2) - (+5) \\ & = (+7) + (+2) + (-5) \\ & = \{ (+7) + (+2) \} + (-5) \\ & = (+9) + (-5) \\ & = +4 \end{aligned}$$

18. 次の各問いに答えなさい。

(1) 次の \square に、 $+$ または $-$ を入れて式を完成させなさい。

$$123 \square 235 \square 451 \square 562 \square 789 \square 888 = 1000$$

(2) 次の①～④までの不等式がすべて成り立つように、ア～オにあてはまる数を下から選んで書きなさい。同じ数は2回以上使いません。

① $\boxed{\text{ア}} < 0$

② $\boxed{\text{イ}} < 6$

③ $-2.5 > \boxed{\text{ウ}}$

④ $\boxed{\text{エ}} > \boxed{\text{オ}}$

$\frac{13}{2}$, 1 , 6.7 , $-\frac{8}{3}$, -1